

資料番号	11
------	----

令和5年11月17日
課名 土木建築局道路企画課
担当者 課長 南
内線 3890

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

シールドトンネル工事については、令和3年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しており、地表面変位の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

また、費用負担等に係る契約変更の内容について、受注者から公社に対し、中央建設工事紛争審査会に調停申請した旨の連絡が令和4年12月5日にあった。なお、公社及び受注者ともに、これまでと同様に安全・安心を第一として早期完成を目指し工事を継続していくこととしている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

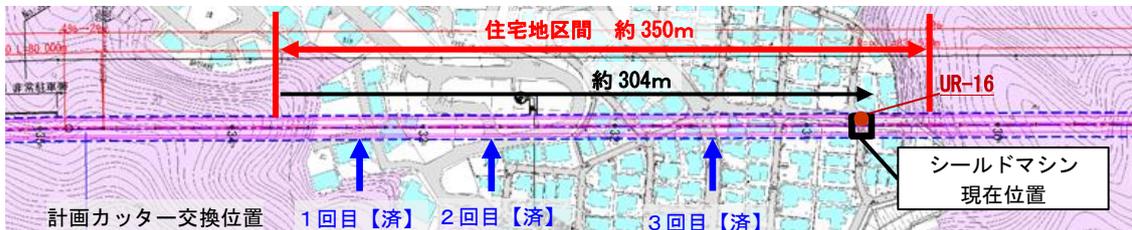
ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の掘削状況

10月13日の掘削において金属片を回収したことから、住宅地区間で10回目の臨時点検を実施した。その結果、ツインカッター1箇所、シングルカッター1箇所、で圧痕が確認された。このため、ツインカッター全8箇所及びシングルカッター外周側14箇所を交換し、今日13日から掘削を再開している。なお、臨時点検期間中の地表面変位については、マシン直上の計測点（UR-16）において0mm～-0.3mmであった。

今日13日時点で、住宅地区間約350mのうち約304m地点（シールドトンネル工事延長約1,400mのうち約950m地点）に到達しており、住宅地区間は残り約46mとなっている。

イ 騒音・振動への対応

騒音・振動の影響については、個別訪問により住民の意見や感じ方の聞き取りをするなど丁寧な対応を行っており、引き続き、住民のニーズに沿って柔軟に対応する。



(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和5年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 650百万円

(5) 今後の対応

今回の臨時点検の対応について、安全・安心対策協議会において住民代表へ丁寧に説明を行ったところであり、地表面変位等の状況を注視しながら慎重に掘削を進めていく。引き続き、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、事業主体である公社や広島市と連携し、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。